

## 第 2 次木津川市地域公共交通網形成計画（骨子案）について

### 1. 第 2 次計画の区域・期間について

計画区域：木津川市内全域

計画期間：令和 2 年 4 月から令和 7 年 3 月までの 5 年間

### 2. 第 2 次計画の基本的な考え方について

- 現行の【第 1 次計画】における基本的な方針を引き継ぐ
- 第 2 次木津川市総合計画に記載している「将来都市構造」における地域づくりとの連携・整合を図る
- 持続可能な公共交通を維持するため、既存の公共交通を大切な地域資源として活かす
- 新技術の進展や運行事業者の運転手不足、高齢者の運転事故などの急変する社会情勢に対応するため、必要な施策を講じる

### 3. 第 2 次計画の基本方針について

上記 4 つの基本的な考えのもと、計画における基本方針（施策の柱）を以下のとおりとする。

- ① 地域や社会情勢に応じて、持続可能な公共交通体系の充実に取り組むことで、活力と魅力ある地域づくりを支援する
- ② 鉄道・バス・タクシー等が連携し、利用しやすく満足度の高い公共交通の利用環境づくりに取り組む

### 4. 計画の目標について

- ・ 第 1 次計画では、コミュニティバスに重点を置いた施策を進めており、コミュニティバスの年間利用者数を指標として定めているが、第 2 次計画では公共交通全体のサービスを充実させることを基本方針としているため、「市内における公共交通の利用者数」を新たな計画目標として定める。

#### ○ 第 2 次計画目標（案）

計 画 目 標	指 標（令和 6 年度）	備 考
市内の公共交通利用者 （新規）	1,400 万人	H30 年度 13,774,779 人
コミュニティバス利用者	27 万人	H30 年度 249,850 人
公共交通の満足度	基準年度からの向上	アンケート結果により設定

## 参考 第1次計画（木津川市地域公共交通網形成計画）の概要

### ■基本方針

- ①地域特性に応じた利便性の高い地域公共交通体系を構築することにより、活力と魅力ある地域づくりを目指す
- ②鉄道・バス・タクシー等が連携し、利用しやすく満足度の高い持続可能な地域公共交通づくりに取り組む

### ■計画の区域：木津川市内全域

### ■計画期間：平成27年4月から令和2年3月までの5年間

### ■計画の目標

指 標	実績値 (H25)	目標値 (H31)
コミュニティバス年間利用者数 (人)	274,324	300,000
市民アンケートにおける総合的な満足度 (路線バス・コミバス)	3.09 (H26)	3.30
市民アンケートにおける通勤・ 通学の便利さに対する満足度	34.7%	39.7%

### ■目標を達成するために実施する施策・事業

- ①コミュニティバスの運行 … きのつ・かも・やましろバスの運行
- ②乗継利便性の向上 … 鉄道との接続を考慮したダイヤ改正
- ③車両の利便性の向上 … バリアフリー車両、車両デザインの検討
- ④情報提供の充実 … 公共交通だより・時刻表の作成など
- ⑤利用機会の提供 … 乗り物体験学習、1日フリー乗車券の発行など
- ⑥市民意識の変革 … 地域ワークショップ、乗り方教室など
- ⑦魅力の発信 … アクセスサインの充実、急行バスとの連携